

やら米か

浜松発のこだわりの米で 元気な食卓を

さまざまな産地のお米が店頭に並び、新米時期。浜松市では、地域ブランド米「やら米（まい）か」が今年も収穫され、人気を集めている。「やら米か」は、天竜川・都田川の恵みと生産者の熱い思いに育まれたお米だ。浜松周辺の農家で結成された浜松地域特別栽培米研究会が、農林水産省の特別栽培農産物表示ガイドラインに基づき、化学肥料や農薬を一般的な農法の半分以下に削減して生産。農産物検査の外観品質が1等で、食味計による数値が高く、粒が大きく揃ったお米だけを「やら米か」と認定し、販売している。

温暖な気候の浜松市では、農薬の使用回数を減らすと、栽培管理に非常に手間がかかる。さらにタンパク含量をさげるために施肥量も減らしているため、収穫量も一般的な農法の7〜8割しかない。そんな条件をクリアし、人にも環境にもやさしく仕上がった「やら米か」。冷めても艶とねばりのあるしつかりとした歯ごたえが魅力だ。値段は少々高めだが、そのおいしさは、お米日本一コンテストで入賞するほどである。



浜松地域特別栽培米研究会：
<http://yarakomeka.jp/>

「やら米か」は、小中学校の給食への供給や、田植え、いきもの調査、稲刈りなどの体験教室を通してブランド名は徐々に定着。提供開始から5周年を迎えた。今年は「もともと市民にも関心を持っていた」と、米袋デザインの公募も行った。寄せられた587点の中から選ばれた受賞作品は、浜松まつりの風をモチーフにしたデザイン。新パッケージに生まれ変わった、新米「やら米か」の注目度はますます高まっていくばかりだ。

お米は日本の心。毎日食べるものだからこそ、安心安全を第一に、よりおいしいものを選んでほしい。「やつてみよう」「やろうじゃないか」というやらまいか精神が込められた、この「やら米か」は、浜松市民はもとより、全国の食卓にも広げていきたい。



「やら米か」を原料とする、小麦粉を一切使わない米粉100%スイーツ。こめのごシリーズ：紅茶のろーるけーき 840円/緑茶のぼうむくーへん 1,365円
田町梅月 053-447-0181
<http://www.tamachi-baigetsu.co.jp>

わたしたちが浜松市の魅力を全国に、
そして世界に発信するお手伝いをしています。

CLUTCH
F.C.C.
TECHNOLOGY
(株)エフ・シー・シー

Ensku
エンシュウ(株)

遠鉄グループ
遠鉄グループ

KAWAI
(株)河合楽器製作所

JAとびあ浜松
JAとびあ浜松

scrool
(株)スクロール

SUZUKI
スズキ(株)

HMK
HAMAKYOREX
(株)ハマキョウレックス

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS
浜松ホトニクス(株)

浜松信用金庫
浜松信用金庫

YAMAHA
ヤマハ(株)

Roland
ローランド(株)

Roland
ローランド ディー、ジー、(株)

「はままつ魅力発信応援団」は、浜松市の知名度やイメージの向上を図るため、浜松市内に本社を置き、海外および市内外に営業所や支店、工場などがある企業の皆さまのネットワークを活用して、浜松の多彩な魅力を国内外に情報発信するものです。

「はままつ魅力発信応援団」としてご協力いただける企業の皆さまには、本社や営業所などでの「はままつ魅力発信応援団」のポスター掲示や「HAMAMA流（はままる）」の配付、社内報・社外報の中で浜松市の魅力の紹介などをお願いし、浜松の多彩な魅力を全国へ、そして海外へ発信していきます。

はままつ
魅力発信応援団
はままつの
魅力、
世界に届け！

こうなりたい！と思うことで人生が豊かになる



鈴木 砂羽 すずき さわ

浜松市出身。1994年映画『愛の新世界』主演で映画デビューを果たし、ブルーリボン新人賞など多くの映画賞を受賞。近年の主な出演作は、舞台『欲望という名の電車』映画『夢売るふたり』、TVドラマ『相棒シリーズ』(EX)『江～姫たちの戦国～』(NHK)『トッカン』(NTV)など。また2013年公開予定主演映画『しあわせカモン!』がある。



実は浜松には頻繁に帰っています。チャキチャキとした浜松の街と浜松餃子が大好きです。先日帰省してウォーキングしていたら「砂羽さん餃子好きなんですよ。私の好きなお店に行ってください」と声をかけられ、探して行ってきました。看板もなく見つけにくい場所でしたが、すごくおいしかったです。浜松餃子は野菜のバランスがよく、甘くて軽くて絶品。おかずというより、スナック感覚…、おつまみ感覚ですかね。それとビールがあれば何もういことなし。いろいろな地方に行っていますが、やっぱり浜松はいい街だなんて思います！

ドラマにバラエティーに大活躍の鈴木砂羽さんですが、もともと俳優になることが夢だったのですか？

実は文章でも絵でも、表現者だったら何でもいいと思っていました。性格が明るくて、友達も多かったし、自分が中心になって何かをやることに何の抵抗もない子だったので、結局俳優が一番向いていたのかもしれないですね。

夢実現のため、下積み時代に「苦労をされた経験があると思いますが、当時のことを教えてください。」

下積み時代は、収入も少なくて苦労しました。家もお風呂のないワンルームで、友達と食材を分け合って食べていました

が、当時は普通だと思っていました。転機が訪れたのはデビュー作『愛の新世界』という映画のオーディションを受けたときのこと。最終選考に残った人はヌード審査があり、50人ぐらいの男の人の前で全裸になりました。ここまで来たらやるしかないと思っていて、自分が好きでやっていることなので平気でした。ただそういうことをすると世間でさわがれて

両親に対しては後ろめたい気持ちもありました。俳優という自分の目標のために誰かを悲しませることが一番辛かったですね。でも作品を観て、やりきった私を見て、両親も友達もよく頑張ったねと言ってくれました。当時21歳だった私は、

100%の力をつぎ込んだ達成感があったので、それが悪い評価になるはずがないという思いでやっていました。ビジネス戦国時代と言われる今、出世のために頑張る全国のビジネスマン、ビジネスウーマンに向けてメッセージをお願いします。

私が思うことは、俳優でも他の職業でもなりたい自分になれるように自ら仕向けていくことが大切だということです。それは浜松だろうと他の町だろうと同じ。とにかく強く思うことが大切。それは決して苦しいことじゃなく、楽しいことだと思えます。だから、茨の道とはあまり考えずに「私はこうなりたい！」と素直

に思えばいいのです。それが人生に豊かさを与えてくれるのではないのでしょうか。月並みのことしかいえませんが、人に動かされているのではなく、自分が人を動かしていると思った瞬間に世界が変わります。そういう情熱があると周りの人も熱くなつて、その熱がどんどん伝わっていき、驚くほどのパワーが生まれてくるのです。

近年では美しさや演技力だけでなく、明るくおらかなキャラクターが人気を集めている鈴木砂羽さん。若い世代の人才が目指す憧れの存在として、今後彼女の精力的な活動に注目です。